

事業概要シート (■事務事業 □補助金等事業)

事業名称	健診事業		事業種別	直営	担当部課	健康保健部 健康推進課		事務事業No.	5	
事業期間	平成元年度 ~ 継続				記入者	主査 清河 康成				
事業の経緯	疾病の予防ができるよう、また積極的に健康の保持・増進に取り組むことができるよう各種健診を総合保健センターで実施している。市民のニーズや社会環境の変化に対応し、健診内容を見直している。				根拠法令	健康増進法				
					根拠条例	大津市総合保健センター条例				
					必須業務の有無	なし				
					成果の内容	積極的に健康度をアップさせる市民を増加させた				
事業目的・事業の位置づけ(首長公約、マニフェスト、総合計画、緊急度など)	疾病の早期発見と予防並びに市民が積極的に健康保持・増進に取り組み、健康度をアップさせる。 (総合計画第1期実行計画 方針01-政策03-施策03-視点02)				活動指標名	健診の開設日数				
					指標の推移	単位	H19実績	H20実績	H21見込	目標値(H21)
事業概要・施設概要 (補助金の場合は、補助率・算出根拠・限度額、対象者など)	若年層からの積極的な健康保持・増進のため、医学的検査に問診と体力測定に基づく栄養・運動指導を加えた健康増進コースと、育児中の母親を対象とした、保育付の母親健診を実施する。 健康増進コース 問診・診察、身体測定、視力・聴力・尿・血圧・心電図・肺機能検査、運動負荷試験、胸部X線(直接)撮影、血液検査(23項目)、食事調査、体力測定、総合判定、栄養指導、運動指導・実践、(オプション:骨密度測定) 母親健診 問診・診察、身体測定、視力・聴力・尿・血圧・心電図・肺機能検査、胸部X線(直接)撮影、血液検査(23項目)、総合判定、(オプション:骨密度測定・胸部X線(直接)撮影)				成果指標名	受診者数				
					指標の推移	単位	H19実績	H20実績	H21見込	目標値(H21)
					対象者の状況	対象者名	20歳から64歳までの市民			
						対象者の推移	単位	H19実績	H20実績	H21見込
【収入】	千円	H19実績	H20実績	H21見込	民間委託	委託の現状				
使用料・手数料		8,013	7,567	6,999		受け皿の存在				
国支出金(補助率 1/3)		1,653				なし				
県支出金(補助率 1/3→2/3)		1,653	72			なし				
収入合計		11,319	7,639	6,999		なし				
【支出】	千円	H19実績	H20実績	H21見込	市における類似事業	将来の動向				
人件費	正規職員	従事人数(人)	2.6	1.65		1.7	市民の健康に対する意識の向上に伴い対象者は増加する			
	人件費	21,580	13,860	13,860		なし				
臨時・嘱託・再雇用職員	従事人数(人)	2.8	4.0	4.0		近隣・同等規模等の都市の状況				
人件費	7,025	11,108	11,196	京都市は京都市健康増進センター「ヘルスピア21」を(財)京都市健康づくり協会に委託して健診等を行っている						
事業費(予算・決算)		16,748	8,527	6,999						
支出合計		45,353	33,495	32,055						
【収支】	千円	H19実績	H20実績	H21見込						
一般財源充当額		34,034	25,856	25,056						
対象者あたり一般財源充当額		24	26	19						
主な事業費(H21見込)	事業名称	事業概要	事業費		国、県の補助金の動向					
	血液検査手数料	受診者の血液検査手数料	3,137		平成19年度に老健法が廃止され、骨密度の測定のみが健康増進法の補助対象となった					
	健診機器賃借料	健診機器(3台)リース料	760		廃止したときの影響	39歳以下の市民、特に育児中の母親が健診を受ける機会が無くなる。				
	報償費	保育サポーター報償費	769		その他特記事項(事業仕分けにかけた理由、議論して欲しい点、留意事項など)	39歳以下の育児中の母親については健診の機会が無いため保育付の母親健診を行う。また健康保持・増進には健診と合わせて運動と栄養の指導が不可欠であるが、民間では行うことが難しいため健康増進コースを行う。				
	消耗品費	医療用消耗品等	1,583							